

項目	記載箇所	タイトル	ご意見	市の考え(対処方法、マップへの反映方法)	修正の有無	回答部署	
①記載内容や文章、文字などの修正について	情報面①	提案	情報面の印象について	もう少し目立つように色や文字を工夫するとよいのでは。	色については、江南区のカラーをイメージしているため、このままの表示とさせていただきます。読みづらい文字については、文字の色を変更いたします。	○	下水道計画課
	情報面②	提案	浸水ハザードマップの目的について	「新潟市浸水ハザードマップの目的」と「新潟市浸水ハザードマップとは」で、内容に重複する部分があるので、内容を統合し強調したい部分の文字色を変えた方が見やすくなるのでは？	両項目は目的と想定条件で説明内容が異なるため、項目を分けて記載しております。内容の統合は、今後の課題とさせていただきます。	—	下水道計画課
	情報面全般	提案	内水はん濫、外水はん濫の記載について	内水はん濫、外水はん濫という言葉は、日常的に使用されていないため、浸水、洪水に統一した方がわかりやすい。浸水（内水はん濫）、洪水（外水はん濫）と表記するのはよいと思う。	公表済みの他の区と同じ様式を採用しているため今回は修正できませんが、今後の課題とさせていただきます。	—	下水道計画課
	地図面④	要望	標高データについて	標高データが小さすぎるので、地区別にして大きく出来ないか。もしくは、浸水ハザードマップに標高データを重ねられないか。	標高データと浸水深の図面を重ねると、浸水の情報が把握しにくいので、別々の図で掲載させていただきます。標高データにつきましては、出来る限り大きく表示いたします。	○	下水道計画課
	地図面⑥	要望	浸水箇所の対策情報	五月町2丁目は平成27年3月に排水路にマンホールポンプ施設の設置工事が実施されている。それでもまだこれだけの浸水が起こるのか、確認してほしい。	浸水ハザードマップでは、平成10年8月4日の新潟市観測史上最大の1時間あたり97ミリの降雨を想定しております。同規模の降雨時には、表示の浸水状況が予測されます。	—	下水道計画課
	地図面⑥	情報提供	浸水箇所の情報	先回の豪雨の際に、大江山地区で道路冠水が発生しているが、浸水ハザードマップには表示されていない。	お問い合わせの区域について精査を行い、記載の内容を浸水想定区域として修正いたします。	○	下水道計画課
	地図面⑥	要望	地図の大きさについて	浸水ハザードマップと同じ大きさと、各地区別の図面があったほうがよいのでは。	地図については、できるだけ大きくするようにしておりますが、紙面の都合から現在の大きさとさせていただきます。江南区全域を分割・拡大したものを、新潟市のホームページに掲載します。地域別に使用される場合には、こちらのご活用をお願いします。	—	下水道計画課

項目	記載箇所	タイトル		ご意見	市の考え(対処方法、マップへの反映方法)	修正の有無	回答部署
①記載内容や文章、文字などの修正について	地図面⑥	要望	地図の大きさについて	拡大図が小さく見づらい。可能な限り大きくして見やすくしてほしい。	地図については、できるだけ大きくするようしておりますが、紙面の都合から現在の大きさとさせていただきます。江南区全域を分割・拡大したものを、新潟市のホームページに掲載しますので、こちらのご活用をお願いします。	—	下水道計画課
	地図面⑥	要望	地図の大きさについて	江南区全体を一覧するには便利だが、細かすぎて分かりづらい。浸水深さがよく見えない。冊子でよいので地図面を拡大表示してほしい。	同上	—	下水道計画課
②避難関連について	—	意見	江南区の避難所整備について	江南区のほとんどは沼地の上に出来た市街化区域や海拔0m地帯であり、大水害時は至る所で冠水が発生するリスクを有している。そのような現状の中で、避難所の整備が進んでおらず、市役所は自然災害に対する防災の考えが遅れているのではないか。	新潟市の避難所は地震、津波、洪水、土砂災害などの避難者を受け入れるために、学校などの公共施設を利用し指定しています。そのうち、洪水時の緊急避難所としては、2階以上の建物を指定しています。また、急激な大雨による浸水では、自宅の2階以上に移動する垂直避難が有効となります。災害の状況に応じて、適切な避難をお願いします。	—	下水道計画課 江南区総務課
③その他	情報面①	質問	平成10年8月浸水被害状況について	表紙の写真(亀田四ツ興野地区、諏訪地区、亀田新明町地区)のそれぞれの浸水原因はなんだったのか。その後、どのような対策・改善がなされたのか。亀田地区の一番の気がかりは何か教えてほしい。	表紙の写真では、下水道の整備水準以上の大雨が降ったことにより浸水が発生したと考えられます。その後、亀田地区では排水ポンプや雨水管の整備を実施しております。しかしながら、近年は下水道の雨水排水能力を超える局地的な集中豪雨による浸水被害が年々増加の傾向にあります。浸水被害を防除・軽減するために浸水ハザードマップをご活用いただきたいと思います。	—	下水道計画課
	—	要望	浸水深の現地表示に関して	電柱などで浸水ハザードマップで示している浸水深を現地確認できないか。	浸水ハザードマップでは、平成10年8月4日の新潟市観測史上最大の降雨を想定しておりますが、雨の降り方によって浸水深は異なることから、混乱をさけるため現地での浸水表示は実施しておりません。	—	下水道計画課

